

令和3年度 第2回 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 令和3年8月5日(木) 午後1時25分から午後5時まで

場 所 東金市役所 第1庁舎 3階第1委員会室

<出席した委員>

飯田 加奈恵	城西国際大学看護学部招聘教授
神部 眞一	千葉県病院局副病院局長
鈴木 紀彰	国保直営総合病院君津中央病院名誉院長
塚瀬 一夫	東金市議会議員
寺口 恵子	公益社団法人千葉県看護協会会長
樋口 幸一	公認会計士
古川 洋一郎	山武郡市医師会副会長
鎌田 貴俊	九十九里町議会議員
渡辺 眞俊	千葉県健康福祉部保健医療担当部長

(敬称略、五十音順)

<欠席した委員>

佐野 勇一	株式会社ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部担当部長
横手 幸太郎	千葉大学医学部附属病院長

(敬称略、五十音順)

会議概要

- 1 開 会 (午後1時25分) 司会 東金市企画政策部 酒井医療担当部長
- 2 あいさつ ・設立団体 東金市 東金市・鹿間市長、九十九里町 大矢町長
・地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 高橋事務部長
- 3 議 事
 - ・第1号議案
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第3期中期目標に係る見込業務実績報告書に対する意見聴取について
 - ・第2号議案
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第3期中期目標期間の終了時の検討に関する意見聴取について
 - ・第3号議案
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第4期中期目標(案)に対する意見聴取について
- 4 そ の 他 特になし
- 5 閉 会 (午後5時)

○主な意見・質疑等（概要）

議事・第1号議案 第3期中期目標に係る見込業務実績報告書に対する意見聴取について

■第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため
とるべき措置 4

中項目1 救急医療 4

●救急車応需率が低下している理由を確認したい。

⇒令和2年度に関して、カウントしていなかった件数があり、正確に計算をした数値が70.9%となったもの。【高橋事務部長】

●救急患者受入患者数は計画値を達成しているものの平成30年、令和元年を下回っている。また、ウォークイン受入患者数、救急車応需率ともに計画値を下回っている。特に、救急車応需率が70.9%であり、地域救急医療の中心的役割を果たすためには救急車応需率を上げていく必要があると考える。

●新型コロナウイルス感染症患者が増えたことで、病床使用率が上昇し、救急車応需率が低下したと考えた。

⇒救急車応需率が低下した理由のひとつにある。一般病床の稼働率について、毎日95%を超過しており、状況によっては入院をお断りしているケースもある。【高橋事務部長】

中項目2 地域の中核病院として担うべき医療 4

(1) 小児医療・小児救急医療 3

●計画値に対して実績が大きく下回っているのは、コロナ禍との関係であるのか確認したい。

⇒従前と変わらない体制である。新型コロナウイルス感染症が蔓延した同時期に、他の感染症の患者が激減したことにより、小児医療全体の患者が減少したと捉えている。【高橋事務部長】

●コロナ禍とはいえ目標を大きく下回っていると捉えている。

(2) 周産期医療 4

●夜間の帝王切開の手術件数を確認したい。

⇒午後5時半から翌日8時半の時間帯及び土日祝日の件数については、13件。1年間の全体の総件数は74件。【高橋事務部長】

●分娩件数については全国的に減少しているので、分娩件数の減少が病院の問題であるのかは判断しがたい。

(3) 災害医療 4

●どのようにBCM（業務継続管理）を実施しようとしているのか確認したい。

⇒BCP（業務継続計画）は策定が完了しており、BCPを策定した業者に管理を委託しようとして前年度に考えていたが、業者の都合で契約の継続ができなかった。当センターの職員でDMATの研修を受けた職員に管理を担当させる方向で検討している。管理の方法等についても、そ

の担当職員に検討してもらおう方向で進めている。【高橋事務部長】

(4) 感染症医療 5

●新型コロナウイルス感染症対応についても、地域の中核病院としての役割を果たしているのだから、今後は、地域の安全安心のために感染症指定医療機関の指定を目指してはどうかと考える。

⇒山武長生夷隅地域の中核病院として、感染症対応を行っていく責務はあると考えている。しかし、病院の構造上、陰圧対応が困難であり、一つの障害と捉えている。千葉県の大規模な公立病院では、陰圧の管理を徹底した専用の病室を用いて、感染症対応を行っている。当センターでは、構造上困難であると考えている。【高橋事務部長】

●コロナ禍の終息後に、感染症対応に係る設備、人材、費用について、国や県の支援があればよいと考える。

●感染症医療機関において、グレードの高い陰圧室を多く備えている機関は、多くはない。住民の要望等があると考えてるので、今後検討いただきたい。

(5) 急性期医療の効率化に必要な病棟運営・・・特になし 4

中項目3 高度専門医療 4

(1) 4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応 4

●脳卒中の治療対応において治療期間の短縮に寄与したとあるが、どのくらい短縮できたのか確認したい。

⇒平均在院日数で0.4日程度の短縮を確認している。【高橋事務部長】

●自己評価「5」としている理由を確認したい。

⇒脳卒中の分野について、SCU6床を12床（稼働9床）に増床した。また、心筋梗塞の分野については、心臓カテーテル手術やアブレーション治療などにおいては、24時間365日対応できる体制をとっている。この地域の住民の方々も高齢化が進み、なるべく当センターで脳や心臓の疾患について対応させていただくという方針のもと運営をしてきたので、自己評価を「5」とした。【高橋事務部長】

●糖尿病性腎症患者に対する透析の実績を確認したい。

⇒糖尿病性腎症患者に対する透析は行っていない。当センターで行っているのは、救急の患者さんで、透析が必要な方のみ対応している。【高橋事務部長】

●この地域においては透析が必要な患者さんが多く、一般の方に対して透析を行うことについて検討しているか確認したい。

⇒この地域の中核病院としてどの分野の医療を担当するべきかについて、医師会の方や設立団体と検討していきたい。【高橋事務部長】

(2) 高度で専門性の高い医療 4

●自己評価「5」としている理由を確認したい。

⇒地域の中核病院として必要な診療科や人材はそろっていると認識している。また、院内での医療連携は進んでいると認識しているので、自己評価を「5」とした。【高橋事務部長】

●自己評価に記載されている内容が抽象的であるため、評価が難しい。チーム医療体制整備では、具体的にどのようなチームを整備され、どのような成果を上げたのかが記載されることを期待したい。

⇒一つの例であるが、救急で受け入れた脳の損傷の疑いがある患者さんについて、救急科、脳神経外科、脳神経内科と共同で治療にあたるなどの医療連携を図っている。【高橋事務部長】

●第3期中期目標の期間中に新たに法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による認定施設の認定を受けたものを具体的に記載してはどうかと考える。

中項目4 安全・安心で信頼される医療 3

(1) 医療安全対策の徹底・・・特になし 4

(2) 患者の視点に立った医療の実践 3

●患者満足度調査の年1回実施は少ないのではないかと考える。また、サービス向上委員会とはどのようなことを行っているのか確認したい。

⇒院内の各部門の担当者が集まり、患者サービスを向上させるにはどのようにすべきか、またトラブルの事例を用いて問題の解決を図るための議論をしている。【高橋事務部長】

●患者からの各意見とその対応状況を公表する方向で検討していただきたい。

●患者満足度調査の課題を明確に、数値目標を設定されることを期待する。

⇒患者満足度調査の項目について、患者さんの情報についての質問、医師の診察についての質問、看護職員についての質問、事務職員（受付）についての質問、放射線技師や検査技師等のコ・メディカルの職員についての質問、薬剤師やリハビリテーションについての質問、施設・設備などの職員以外についての質問、全体の質問が項目としてある。直近の意見については現在検討中である。【高橋事務部長】

●患者さんの苦情など受付する投書箱はあるか確認したい。

⇒意見箱を院内に設置している。患者さんからの苦情や要望などは医事課で受付をしている。【高橋事務部長】

(3) 医療の標準化と診療情報の分析 4

●計画値の根拠、またクリニカルパスの作成状況を確認したい。

⇒計画値の10症例以上に適用したクリニカルパス数25件について、設定の明確な根拠の確認ができていないが、各診療科で対応ができる適正な件数を積み上げた結果と推測する。令和2年度は34件であったが、ひとつの項目について、複数回実施をしており、全体で1,398件である。【高橋事務部長】

(4) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス） 3

●令和3年度中に業務運営が改善されることを見込み、評価「3」とする。

- 業務運営に係る適正性や妥当性に欠ける事案が認められ、第三者委員会による調査が行われているため評価「2」としたい。

中項目5 患者・住民サービスの向上 3

(1) 利用しやすい病院づくり 3

- 年1回の患者満足度調査が妥当であるかの検討が必要と考える。また、意見箱への投書の内容について、良い意見と悪い意見があるなかで内容の分析をしたほうがよいと考える。なお、改善の要望について、改善を図った内容の公表はしているか確認したい。
- ⇒改善結果に公表については、十分ではないと認識している。今後は院内での掲示、ホームページにて公表することを検討していきたい。【高橋事務部長】

(2) 患者の待ち時間への配慮・・・特になし 3

(3) 患者・来院者の利便性への配慮 3

- コロナ禍の終息後の無料送迎車両の運行計画を確認したい。
- ⇒現在、無料送迎車両は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため運行休止中である。今後は、公共交通機関との兼ね合いも考慮し、検討していきたい。【東金市・鹿間市長】

(4) 住民への保健医療情報の提供・・・特になし 3

(5) 広報活動の充実・・・特になし 3

(6) 職員の接遇向上 2

- 接遇研修の実施が困難な状況は理解できるが何らかの方法は検討しているか確認したい。
- ⇒職員への接遇研修は大変重要なものと認識している。当センターのなかで職員全体の研修の実施はしていないが、各職種ごとに、例えば看護職のなかでOJTによる指導は行っている。また、令和3年度より管理職体制が整ったので、職員への指導を強化していく。【高橋事務部長】- 令和2年度は実施していないので、評価「2」としたい。

中項目6 地域医療への貢献 4

(1) 地域医療機関等との連携推進・・・特になし 3

(2) 保健福祉行政等との協力 4

- 自己評価「4」とした理由を確認したい。
- ⇒設立団体の市町や周辺市町村において、産後ケア事業の要望が強く、当センターでは宿泊型と日帰り型での受入に対応する体制を整えた。また、救急医療における救急救命士の教育及び研修を積極的に受け入れていることを自己評価した。【高橋事務部長】

(3) 疾病予防の取組 4

●自己評価4とした理由を確認したい。

⇒当センターでは、新型コロナウイルス感染症患者を積極的に受け入れている。また、医療機関に従事されている方に対して、当センターで予防接種を行い、余剰の出たワクチンについては、東金市、九十九里町の教職員の方へワクチン接種を行った。これらの取組を自己評価した。【高橋事務部長】

中項目7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟・・・特になし 4

■第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 2

中項目1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備 2

(1) 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備 2

●経営健全化会議の開催状況、検証結果及び課題はどのようなものがあるのか確認したい。

⇒経営健全化会議について、令和2年度は2回開催した。会議の構成員は、設立団体の市長、町長、千葉県庁の健康福祉部をはじめとした幹部、千葉市病院事業管理者、船橋市病院局特別顧問等が構成員である。会議においては、経営改善を図るうえではどのようにしたらよいか検討をしており、具体的には、病床運営の方向性、収益の確保、費用削減の方策、契約の見直し等の助言をいただいている。令和3年度については、7月29日に第1回目の会議を開催しており、この地域の医療編成について、再編成を要望した。今後もこの会議で当センターの経営改善について検討していく。【高橋事務部長】

●人件費比率が高いと考えるがこの原因は何か把握して、対応を検討しているか確認したい。

⇒当センターの特徴として、常勤医師が61名在籍に対して、非常勤医師が122名在籍しており、他の公立病院と比較して、構成が逆の状態であるので、このことについて今後研究を進めていく。【高橋事務部長】

●職員個々が経営状況を理解し、全職員が経営に参画できる体制がとられることを期待する。

⇒令和3年度から当センターの決算状況について、説明会等で全職員に周知を図っている。また、第三者委員会の調査結果についても、全職員へ周知する予定である。当センターの重要事項については、全職員へ説明するとともに理解を得ながら、経営に参加してもらえる体制をとっている。【高橋事務部長】

⇒個々の職員が経営状況を理解することは非常に大切である。職員の患者へのサービス意識を高めるために、接遇研修等を促していければよいと考えている。【東金市・鹿間市長】

(2) 人員配置の弾力的運用・・・特になし 3

(3) 人事評価制度の導入 2

●人事評価制度の導入について、進捗が図れていない。目標に掲げていて、実行ができていない理由を確認したい。

⇒前年度に人事評価制度の導入が図れていなかったことについて、推測ではあるが企画・立案す

べき事務部が機能不全の状況であったことが考えられる。令和3年度からは事務部の各課長がそろい、体制が整ったので、現在導入に向けて作業を進めている。【高橋事務部長】

(4) 外部評価 2

●監査はどのような項目について行われているのか、また令和2年度の不適切な業務運営を指摘できなかった理由を確認したい。

⇒監事の監査は定期的に受けていた。監査の項目は、財務諸表、決算報告書、事業報告書等の書類の監査である。業務運営上の監査は受けていなかったため、指摘はされなかった。【高橋事務部長】

中項目2 人材の確保 3

(1) 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携 3

●今後持続的に研修医を受入ができるようにするため、今まで在籍していた研修医の東千葉メディカルセンターに対する評価や意見を確認したい。

⇒研修医の当センターに対する評価は現在確認中である。この地域は医師不足が深刻であるため、当センターは研修医にとって居心地が良いという評価をいただけるように対応している。【高橋事務部長】

(2) 医師の確保 3

●研修医の受入数が令和2年度に倍増した要因を確認したい。

⇒医師確保の取組の一環として、千葉県で実施している地域枠での医師に来ていただいている。【高橋事務部長】

(3) 看護師の確保 3

●新型コロナウイルスによる影響か、看護師離職率が15.8%であり、県平均を上回っていることから、看護師確保だけでなく、定着への対策も必要であると考え。看護職のみでなく、職員が働き続けられる職場環境づくりに取り組まれることを期待する。また、看護師の離職理由を確認したい。

⇒看護師の退職理由として、新型コロナウイルス感染症患者への対応により、一般病床を減らし、病床稼働率が高くなったことで、多忙になり疲労感につながったことが挙げられる。また、奨学金の返還免除要件である勤務期間（4年間）以上に勤務した方や看護師の不足から退職時期の延期をお願いしていた方などが退職をしたもの。【高橋事務部長】

●看護師の離職について、奨学金の免除要件である4年以上勤務をした後に、大学院に進学したいという意向や地方出身の方は地元へ戻りたいという意向があったと把握している。新卒の離職率が高いことについては、全国的に問題となっているため、病院へ定着してもらえるよう工夫をする必要があると考える。

中項目3 人材育成 3

- 第3期中期目標期間中に取得できた資格や人数の状況を確認したい。
⇒平成30年度に救急看護認定看護師を1名取得している。【高橋事務部長】
- 研修会参加者数が令和2年度に減少したことについて、別の研修方法を検討していただきたい。

中項目4 働きやすい職場環境の整備 3

- 職員の健康の保持増進、ワークライフバランスの推進では具体的の何に取り組まれたのか確認したい。
⇒看護師については、看護補助者を配置することで業務負担の軽減を図った。【高橋事務部長】

中項目5 職員給与の原則 2

- 体制整備を進めたということであるが内容を確認したい。
⇒給与規程を無視した昇給・昇格が行われていたので、令和3年度は事務部の管理職をそろえて体制整備を図った。【高橋事務部長】
- 関係規程外の支給が認められたため、評価「2」と評価したい。

■第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2

中項目1 健全な経営基盤の確立 2

(1) 健全な経営基盤の確立 2

- 各部門責任者からのヒアリングや職員を対象とした運営状況の説明会について、令和2年度は実績なしであったが、令和3年度の予定を確認したい。
⇒令和3年度は実施する予定でいる。当センターの経営状況を理解してもらえるよう職員への説明会の実施や各部門責任者から現状のヒアリングを実施し、改善すべき箇所の改善を図ってきたい。【高橋事務部長】

(2) 経営情報システムの整備 3

- 具体的な進捗状況や効果を確認したい。
⇒経営情報システムとして、財務会計システム、電子カルテシステム、医事統計データベースがある。財務会計システムについては、損益計算書の作成等に使用している。電子カルテシステムと医事統計データベースについては、入院単価や病床稼働率を統計化して、幹部出席の会議で情報共有している。【高橋事務部長】

中項目2 収益の確保と費用の合理化 2

(1) 収益の確保 3

- 診療報酬単価が増加となった要因を確認したい。
⇒新型コロナウイルス感染症患者を多く受け入れており、その関係で診療報酬単価が増加したと認識している。【高橋事務部長】
- 未収金に対する改善の取組により第3期中期目標期間中にどの程度改善されたのか確認した

い。

⇒未収金対策について、令和2年度は積極的な対策が見受けられなかった。令和3年度になり、保険に加入されていない患者さんについては、10割負担いただく方向で医事課と検討をしている。過去の未収金については、弁護士に依頼して督促するなどの回収努力をする方向で検討している。【高橋事務部長】

(2) 費用の合理化 2

●給与費比率が上昇傾向にあり、この原因を把握されているのか、また対応について検討しているのか確認したい。

⇒令和2年度に給与費が増加した理由は、医師と看護師の給与費が増加したことが主な要因である。医師については、非常勤の医師が多く、特定の診療科でかなり給与費が増加している。看護師については、人数の増加に伴い増加したもの。令和2年度の人員確保に際しては、前年度の実績を踏まえて、業務量を想定して確保を図った。令和元年度は収益を多くあげることができた関係で、令和2年度に人員を増やした。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で患者が減少したことで、給与費比率が上昇したと考える。【高橋事務部長】

(3) 経常収支・資金収支の進捗管理・・・特になし 3

■第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 3

中項目1 財政負担の原則【※評価対象外】

中項目2 地域に対する広報 3

●患者アンケートなどによる普及啓発の評価はされたのか確認したい。

⇒患者アンケートにおいては、普及啓発に係る質問事項はないが、今後検討していきたい。当センターのホームページの一月あたりのアクセス数は、約8万件であり、普及啓発はある程度できているものと認識している。【高橋事務部長】

⇒東金市の広報で理事長のコラム等を掲載しているので、東金市においても普及啓発は積極的に取り組んでいると捉えている。【東金市・鹿間市長】

中項目3 ボランティアとの協働・・・特になし 3

第1号議案採決

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置…大項目評価「4」に決定

- 1 救急医療…中項目評価「4」に決定
- 2 地域の中核病院として担うべき医療…中項目評価「4」に決定
- 3 高度専門医療…中項目評価「4」に決定
- 4 安全・安心で信頼される医療…中項目評価「3」に決定
- 5 患者・住民サービスの向上…中項目評価「3」に決定
- 6 地域医療への貢献…中項目評価「4」に決定
- 7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟…中項目評価「4」に決定

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置…大項目評価「2」に決定

- 1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備…中項目評価「2」に決定
- 2 人材の確保…中項目評価「3」に決定
- 3 人材育成…中項目評価「3」に決定
- 4 働きやすい職場環境の整備…中項目評価「3」に決定
- 5 職員給与の原則…中項目評価「2」に決定

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとすべき措置…大項目評価「2」に決定

- 1 健全な経営基盤の確立…中項目評価「2」に決定
- 2 収益の確保と費用の合理化…中項目評価「2」に決定

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとすべき措置…大項目評価「3」に決定

- 1 財政負担の原則…【評価対象外】
- 2 地域に対する広報…中項目評価「3」に決定
- 3 ボランティアとの協働…中項目評価「3」に決定

全体評価

大項目別の評価を踏まえ、評価B「概ね中期目標を達成していると認められる」に決定。

議事・第2号議案 第3期中期目標期間の終了時の検討に関する意見聴取について

- 新型コロナウイルスに対する診療で中核病院としての役割をアピールできたと思う。
- 業務運営においては、不適切な業務運営が判明したが、現在は職員一丸となって運営体制の改善・強化に取り組んでいる。病院経営においては、従来から費用が収益を大幅に上回る厳しい状況が続いているが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症関連の補助金の交付により損益計算書においては、経常収支が大きく改善しているようにみえるが、実質的には経

営状況は、依然として厳しい状況が続いている。次期中期目標において経営改革の具体的な対策を含め、計画の策定を行い、経営改革が実現できるように指示することを期待したい。また、業務の継続又は組織の存続の必要性については、地方独立行政法人の形態で引き続き業務を行うことが適当とする。なお、第3期中期目標期間の見込み評価を踏まえて、今後の東金九十九里地域医療センターの方向性や求められる業務内容を明らかにし、次期中期目標を策定することをもって当該検討を行い、東金九十九里地域医療センターに指示することを期待したい。

- 現行計画の終了時の検討としては、事務局（案）が適当と考えるが、今後の中長期的な課題として、救急医療、急性期医療を核とした地域中核病院として高度で安全な医療を継続していくうえでは、設立団体の構成見直しを含む経営基盤確立のための早急な根本策の検討が必要と考える。人口減少など外部環境もさらに変化が予想されるなか、現状の収支構造において経常収支比率100%以上を達成するのは至難の業と言える。「山武長生夷隅保健医療圏」の中核病院としての機能を担う法人を将来にわたり2つの設立団体だけで支え続けることが可能か、疑問を持たざるを得ない。医業収支改善のためには、民間レベルであれば不採算部門の縮小、廃止等が検討されるところであろうが、一方公的使命を有する法人としては、安定的に広く出資を募る仕組み作りが急務であると考えている。
- 医療圏唯一の救命救急センターを有し、地域の中核的な病院としての役割を果たしている。また、第3期中期目標期間中には、令和元年房総半島台風等で地域災害拠点病院として災害対応に当たり、新型コロナウイルス感染症においては患者の受入を積極的に行うなど、大きな成果を挙げており、業務を継続させることに賛成である。なお、不適切な業務運営が判明したため、早急に必要な改善を行い、地域から信頼される病院となっていきたい。

議事・第3号議案 第4期中期目標（案）に対する意見聴取について

- 第4期中期目標の”目玉”となるものは何か確認したい。
⇒前文の3つの重点目標が”目玉”と捉えている。第一に公的使命を適切に果たすため、令和2年に判明した不適切な業務運営を教訓とし、関係法令を遵守し、倫理を確立した適正な病院運営を行うこと、第二に地域の医療需要の動向を的確に見据えたなかで、診療科の開設と病棟の開棟を計画的かつ柔軟に行い、効率的かつ効果的な運営により経常収支比率100%以上を達成すること、第三に団塊の世代が75歳以上となる令和7年度に向けて、関係機関と連携して地域包括ケアシステムを推進するとともに、千葉県の地域医療構想を踏まえ地域医療機関との役割分担を明確化し、山武長生夷隅保健医療圏の中核病院としての機能を担うこと、以上が3つの重点目標となる。【東金市・医療センター推進課・平野係長】
- 各項目を達成するにあたって、責任者は定めているか確認したい。
⇒中期目標を達成するための中期計画をこれから法人において策定するもの。計画におけるPDCAサイクルを回すことで、各項目の達成を目指していくもの。【東金市・医療センター推進課・平野係長】
- 目標設定時に具体的数値目標を設定する必要があると考える。抽象的表現だと、何を評価するのか不明確になってしまうと考える。

●経営健全化計画の位置づけ及び経営健全化計画と年次計画との関係性を明確にし、それぞれの計画の進行管理をきちんと行っていただきたい。また、新型コロナウイルス感染症の終息など状況の変化に応じて、中期目標等の内容について見直しを行っていただきたい。不適切な業務運営が明らかになっており、再発防止のためにも全職員に対し、法令等に則し業務を適正に行うことを徹底していただきたい。また、事務処理の方法や、チェック体制の改善・見直し等を徹底していただきたい。昨年度は新型コロナウイルス感染症関連の補助金により、大幅に収支が改善したが、費用が収益を上回ってしまう原因を分析する必要があると考える。また、新型コロナウイルス感染症の終息後にどのように収益を増やし、支出を削減させていくのか今から検討していく必要があると考える。今回の中期目標を指標として、中期計画を策定することとなるが、評価をするときに定量的に評価できるように、計画数値の設定をお願いしたい。

●2024年4月から医師の働き方改革の残業規制が始まるが、これらに対する対応はできているか確認したい。

⇒労働時間の上限規制の遵守については、第4期中期目標（案）における重点目標の関係法令の遵守に含まれているもの。また、時間外勤務の削減や働きやすい職場環境の整備についても、第4期中期目標（案）において取り組むこととしている。【東金市・医療センター推進課・平野係長】

●外部の医療経営専門のコンサルタントの導入により、経営全般、特に医療現場の改善のコンサルティングを客観的に行ってもらい、経営改革を促進する必要があると考える。

⇒資料5：中期目標新旧対照表の12ページ（6）外部評価の項目において、コンサルティング導入について検討する旨についても含まれている。【井上副市長】

⇒コンサルタントは得意分野と不得意分野が混在しているので、依頼者の意向に沿ったコンサルティングをしてもらえる機会は多くはないので、事前調査をしっかりと行い、他の医療機関からも情報収集しながらコンサルティングを依頼するかなりの努力が必要と考える。また、コンサルティング導入時に、アドバイスを受けた事項を具体化することが必要と考える。

⇒（6）外部評価の小項目③病院機能評価等の活用について補足すると、公益財団法人日本医療機能評価機構においてさまざまな分析・評価をして提言をいただけることになっており、コンサルティングを依頼する手段はある。費用がかかるものではあるので、今後中期計画策定時に法人と具現化できるか協議していきたい。【東金市・酒井医療担当部長】

⇒令和元年度の経営健全化会議においてコンサルティング導入の提案をした。実際の導入については今後検討し、法人と設立団体で経営健全化に向けた取組を進めていきたい。【東金市・鹿間市長】

●目標策定に際し、評価委員会で審議することも重要であるが、経営健全化会議などでも審議をお願いしたい。

⇒令和3年7月29日開催の経営健全化会議において、第4期中期目標（案）について審議をいただいております。審議後の（案）を今回の評価委員会に提示している。【東金市・井上副市長】

●令和7年度までに経常収支比率100%と掲げているが、具体策が見えていない。特に経常収支比率100%を達成するための収益の確保や費用の合理化について、数値は記載されていない。年度の目標には患者数や単価などが掲げているので、具体的に記載した方が良い。特に費用（経

費) は今までの改善策を継続するだけでは人件費等から増加する可能性が高く、次の改善策を策定しなければならないと考える。

以上